

ほうきさん

2015年 5月

棕本673 存仁寺



「花岡大学」

わしひとりを
めあての
本願の
ありがたさ

立教開宗法要

— 「念佛せよ。必ず救う」と呼び続けてくださる阿弥陀さま —

いわゆる『教行信証』をお書きになり、浄土真宗のみ教えをお伝えくださったことを機縁とする法要であります。ご法要を縁として、あらためて浄土真宗のみ教えを味わわせていただきましょう。親鸞聖人は「正信偈」に「極重惡人唯稱佛 我亦在悲攝取中 煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我」、すなわち「極重の悪人はただ仏を称すべし。われまたかの攝取のなかにあれども、煩惱、まなこを障(さ)へて見たてまづらざといへども、大悲、倦(ものう)きことなくして、つねにわれを照らしたまふといへり」(註釈版聖典二〇七頁)と示されました。現代語訳すると「きわめて罪の重い悪人はただ念佛すべきである。わたしもまた阿弥陀仏の光明の中に摄(おさめ)取られているけれども、煩惱がわたしの眼をさえぎって、見たてまつることができない。しかしながら、阿弥陀仏の大いなる光明は、そのようなわたしを見捨てるところなく常に照らしていくくださる」(現代語版『教行信証』一五一頁)となります。物事を自分にとつて都合がいいように理解し、眞実を眞実として見ることができないのが、阿弥陀さまから見た自己中心的な私たちの姿です。例えば、私たちは「すべての人は必ず死なければならない」ということを、知識としてはわかつても、自身や親しい方の死に直面した時、それをなかなか受け入れることができません。しかし、たとえ煩惱によつて眞実を見る眼が覆われていたとしても「念佛せよ。必ず救う」と絶えず呼びかけてくださっているのが阿弥陀さまです。

さまです。

阿弥陀さまのはたらきに出遇い、自己のとらわれに気付かされた時、私たちはさまざまご縁を大切にしながら、この限られた命を生き抜くことができます。今後もお寺へお参りくださり、み教えを聞かれますとともに、ご縁ある方へもみ教えを伝えていただきたいと思います。

立教開宗記念法要 ご門主法話(ご親教)より

「わしひとりを めあての 本願の ありがたさ」

『歎異抄』後序にある「聖人(親鸞)のつねの仰せには、「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案すれば、ひとへに親鸞一人がためなりけり。さればそれほどの業をもちける身にてありけるを、たすけんとおぼしめしたちける本願のかたじけなさよ」」(『註釈版聖典』八五三頁)とご述懐されていましたとあります。阿弥陀さまのご本願のおめあてが、この私であった、といただいたとき、思わず「ありがとうございます」「かたじけないことでござります」と、お念佛申されたことでしょう。妙好人といわれる人も、すぐさまお念佛を喜ぶ身になつたというわけではありません。ご法義を聴聞するようになつたのは、他人(ひと)ではなく、自分自身が問題になつたからでした。お恥ずかしい、お粗末な生き方しかできない自分が問題になり、その問題解決のため、お寺へ足を運び、聴聞を重ね、少しずつ味わいが変わってきたのではないでしようか。といつて、もうこれでよいというのではありません。聞けば聞くほど、ご本願の確かさが身にしみこむのでした。

5月の行事



- 1日(金) 6時30分 おあさじ
6日(水) 9時 鈴鹿組組会
6日(水) 19時30分 コーラス
10日(日) 10時 子ども会
 19時30分 仏教婦人会班長会
14日(木) 13時30分 無量寿会例会
16日(土) 6時30分 おあさじ
17日(日) 10時 子ども会
17日(日) 17時 仏教壮年会総会
24日(日) 9時 子ども会正覚寺参拝
30日(土) 8時 マキ刈り出合い

6月の行事



- 1日(月) 6時30分 おあさじ
3日(水) 19時30分 コーラス
14日(日) 13時30分 蓮如忌法要
16日(火) 6時30分 おあさじ
22日(月)～23日(火) 鈴鹿組仏壯念仏奉仕団
28日(日) 納骨団参

夏の法座《蓮如忌法要》

6月14日(日) 午後1時30分
住職 蓮如上人御絵伝絵解き
蓮如さんのつどい
岡崎市 天白真央さん他
皆さん是非にご参拝ください

教区・鈴鹿組関連 5月

- 6日(水) 鈴鹿組組会 9時芸濃庁舎
9日(土) 鈴鹿組仏教婦人会会長会議
10時 光明寺
17日(日) 鈴鹿組連研「親鸞聖人の御跡」
9時 法敬寺
24日(日) 津 正覚寺落慶法要午後1時
25日(月) 東海教区仏教婦人会・寺院女性
総会・研修会 名古屋別院
26日(火) 東海教区門徒総代会
総会・研修会 名古屋別院

総代会・世話方会より

5月、護持経費前期分(または全納)徴収にうかがいますので、宜しくお願ひ申し上げます。

6月14日(日)初参式(いのちの誕生をお祝い)です。ご縁の方はお知らせください。